

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（ 津山西 ）中学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から  <b>【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</b>	数学AB・・・現状（「基礎的な計算問題を解く」「数学用語を正しく使用する」「問題の意図を的確にとらえ、数学的に解釈・処理・考察・説明する」を課題としている。） 国語AB・・・現状（「必要な情報を正しく理解し読み取る」「根拠を的確にして自分の考えを書く」を課題としている。）	
	<b>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</b>	<b>進捗状況</b>	<b>来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</b>
市全体の取組	「問題データベース」などを利用し、A問題中心に既習事項の学び直しを行う。	B	○日々の授業で練習問題として復習をする。 ○単元末や定期テスト前に過去問等を利用し学び方の指導を行う。 ○学年末に確認プリントを作成し既習事項の定着を図る。 （「土日や休日に家庭学習を全くしない」の割合が10%以下） ○年度末現在：1年生15.9% 2年生23.3% 3年生4.3%
①	数学の基礎学力向上に向けた取り組みを実施する。 国語の漢字・社会の都道府県名・英語の単語の全校一斉学習及びテストを実施する。	A	○月1回以上の水曜6時間目を「西中タイム」とし、数学の基礎的内容の学び直しを行う。 ○朝の学習タイムを利用し、全校で学期に1回、一週間、学習を行い、学習した内容をテストする。（1学期 漢字/2学期 社会/3学期 英語の単語） ○全ての生徒が8割以上とれるまで個別に放課後学習し、再テストを行う。
②	行事や道徳や学活などを利用し、規範意識や道徳心の向上に取り組むことで、授業規律の確立を進めていく。	A	○授業の受け方について教職員間での共通理解を図る。 ○授業の受け方について小中で連携を図る。 （「学校の規則を守っている」の割合を90%以上） ○年度末現在：1年生95.0% 2年生92.3% 3年生97.2%
③	協同学習を意図的に取り入れ、自分の考えを他の人に説明したり表現したりする場面を増やす。	B	○校内研修で、協同学習のやり方の教職員間の共通理解を図る。 ○他の人に説明したり表現したりする場面を取り入れた研究授業を行い、授業力の向上を図る。 （「授業の中で話し合いの活動をよくしている」の割合を90%以上） ○年度末現在：1年生82.9% 2年生76.5% 3年生93.8%

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」  
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」